

# 生活リハビリテーションセンターだより



## 片麻痺の方を対象とした調理訓練を開催しました



日頃の気になることや疑問などを一緒に考えられるよう活動をしながら、利用者の方同士の交流をしていただくために、7月は片麻痺の方に対する調理訓練を3回開催しました。このプログラムの目的は『片手で調理する方法・工夫を知り、実践すること』です。

調理したメニューは『人参しりしり』『鶏肉の野菜炒め』『大根とじゃがいもの味噌汁』です。片手で調理する上で大きな課題となるのは【食材を押さえながら動作をする】ということです。その【押さえる】ことを補助する道具（自助具）を使用したり、方法を工夫したりしながら調理をしました。人参の皮むき・千切りは滑り止め付きのスライサーを使用しました。初めて使われた方は「これはいいです。早速、買います。」とおっしゃっていました。他にも、野菜を切る時には釘付きまな板を使用し、釘に野菜を刺して固定しながら切ったり、鍋の蓋で上から押さえながら切ったりしました。

普段のお料理でも切りにくいとされる鶏肉を切る時はキッチンバサミを使用したり、味噌を掬って溶く時は味噌マドラーを使用したりと、様々な道具を使用することで、片手での調理に取り組んでいただくことができました。そして、皿洗いや食器拭きの時は滑り止めを使用して食器が滑らないようにすることで作業ができました。

片麻痺になってから調理をしている方、あまりしていない方、それぞれいらっしゃいましたが、実際に工夫をしていることを他の利用者の方にも見ていただくことで「この動作難しいよね」「そうしたらうまくできるんだ」と互いに共感することができ、良い交流の場になりました。

病気や怪我などで、生活を行う上で不便が出てしまい、方法の工夫や何かサポートする道具が知りたい、という方はお気軽にご相談ください。



## 研修会報告

令和4年度 堺市高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業

### 第1回研修会 「高次脳機能障害のある方の福祉的就労

### ～取り組みから学ぶ連携と実践～

6月15日(水)、令和4年度堺市高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業 第1回研修会「高次脳機能障害のある方の福祉的就労～取り組みから学ぶ連携と実践～」を開催しました。ここ数年、新型コロナウイルス感染症により対面開催ができていませんでしたが、今回は人数を制限した中で対面とオンラインのハイブリッド開催を実施し計70名の参加がありました。

第1部では中途障害の方の個々に合った就労に向けた取り組みについて、就労継続支援A型、B型事業所での事例を特定非営利活動法人 南大阪自立支援センター ともにーしょうりんじ 石野 強氏、石野 英司氏、合資会社パラメディカル かんぎ作業所 藤本 知彦氏



からご講義いただきました。ご本人の意向に沿いながら、その方らしい社会参加に支援者が寄り添えることの大切さ、就職がゴールではなく安定して仕事に行けていることこそが大事なことでとお話をいただき、その方にあった社会参加の方法を一緒に考えていく大切さを学びました。

第2部はグループワーク形式で、それぞれの事業所で高次脳機能障害の方が来られた時にどのように関わっていくのか、受け入れていくのかを話し合っていました。

久しぶりに会場開催もでき、会場参加の方からは、対面で参加することで、顔の見える関係ができて良かった。オンライン参加の方からは、気軽に研修に参加できることが良いという感想もいただきました。今後もハイブリット開催を取り入れていきたいと思えます。

### 第2回研修会 「画像診断から見る高次脳機能障害の支援

### ～脳外科医の立場から～

8月28日(日)、令和4年度堺市高次脳機能障害及びその関連障害に関する支援普及事業 第2回研修会を開催しました。

講師にはクリニックいわた、梅田脳・脊髄・神経クリニックの安井敏裕先生をお迎えし、「画像診断から見る高次脳機能障害の支援～脳外科医の立場から～」と題し講演いただきました。

講演では、はじめに高次脳機能障害の診断について、失行・失認・失語と従来からの医学的な診断である「学問的な高次脳機能障害」と、記憶障害・注意障害・



社会的行動障害などこれまで社会保障や障害福祉サービスの対象とならなかった後遺障害を新たに定義した「行政的な高次脳機能障害」の診断基準をお話いただきました。その後、MRIやCTなどの画像検査の仕組みや性質、さらに詳細な画像診断について、その特徴などを解説いただきました。通常は見ることでできない脳外科手術の動画や金属が危険とされるMRIの磁力の強さがわかる動画なども交えながら、頭部外傷や脳卒中の診断についてわかりやすく講演いただき、あっという間の70分間でした。

後半は当センターの作業療法士の中岡より、セラピストが知っておきたい脳画像の見方や想定できる障害像などについて実際の脳画像を示しながら質問を行い、丁寧に解説をし



ていただきました。

今回は専門的な内容の研修会で、医療機関のセラピストを中心に大変多くの方にご参加いただきました。それぞれの臨床現場での支援に役立てていただける内容となったのではと思います。



## 朝の会・終わりの会を再開しました

生活リハビリテーションセンターでは、一日の始まりと終わりに全体で行う「朝の会・終わりの会」を開所以来行っていました。しかしながら新型コロナウイルス感染症の広がりの中、密を避ける必要性が出てきたため、2年間ほど休止をしていました。

朝の会では「予定を確認することで1日の行動を把握する」「目標や解決方法を考え、発表することを通じて、訓練に参加する目的を明確にする」ことを目的としています。また、終わりの会では「一日の活動を振り返り、その日の訓練がどうだったか、目標の達成状況を確認する」「他の方の話を参考に、自分の訓練の状況や目標を考える」ことを目的としています。

コロナ禍で朝の会・終わりの会を休止した頃から、利用者の方より「当事者同士の交流の場が十分でない」というお声をいただくことが多くなりました。そこで、違うプログラムに参加している方と話す機会を持っていただきたいと考え、座席の方向や共有するホワイトボードマーカーの消毒など感染対策をして、令和4年4月より朝の会・終わ

りの会を再開することになりました。

再開後は、訓練の休憩時間中などに、少しずつ利用者の方同士が雑談している様子も見かけるようになりました。また、「プログラムで一緒ではない他の利用者さんと話せるきっかけになりました」といった声もあり、職員一同良い変化を実感しています。

今後も皆様が交流できるような取り組みを行っていきたいと思います。



## 令和4年度 第1回学習懇談会

6月26日(日)、令和4年度第1回学習懇談会を開催しました。

当日は、当事者13名、ご家族15名の総勢28名と、私たちの予想を超えたたくさんの方がご参加くださいました。せっかくの機会なので、できるだけゆっくりにお話ができればと考え、当事者には「お仕事に戻った方」「新たな環境で社会参加されている方」のグループに、ご家族には「親・子の立場」「夫・妻の立場」と似た立場の方同士のグループに分かれていただき、近況報告や情報交換を行いました。

当事者のグループでは、受傷してから今までの思いを話し合ったり、訓練を終了した方から「訓練で身につけたことがこんなところで役に立っている」、といったお話を聞くことができました。

ご家族のグループでは、日頃の様子を話し合い「わが家も同じ!」といった共感や、それぞれの立場

で感じる家族としての思いを語り合いました。

同じ立場で話し合い共感しあえること、今まさに大変な思いをしている方に「私たちも同じ経験をしてきたよ」と伝え、道標となること、そしてまたそれを次へと繋いでいくことは、私たち支援者にはできない、大切な時間です。これからもそのような時間をご提供していきたいと思っております。



## 女性利用者交流会を開催しました

当センターでは、水曜の午後に月替わりのプログラムを実施しています。8月は女性利用者交流会を実施し3名の方が参加されました。最初にどのようなことに取り組みたいかを話し合い、調理や革細工、脳トレなどが候補として挙がりました。その中で、革細工で日常的に使用できるものという案からヘルプマークのストラップを作ることが決まりました。



既存のストラップはシリコン製でつけ外しがしにくく、「服装によってカバンを変えたい」「ヘルプマークをもっとおしゃれに」という女性目線から、ボタンでつけ外

しがスムーズにできるストラップを作成することになりました。お気に入りのストラップを作成するために、どのような刻印を打つか、どのような色がいい



かなど、利用者の方同士で意見交換をしながら作成されていきました。完成品を見て、「きれいな色に染まった」「刻印が少しズレているけれどそれも味がある」など会話も盛り上がり良い交流会になりました。

街角でよく見かけるようになったヘルプマークは、外から見えにくい障害といわれる高次脳機能障害の方にも身につけていただくことで必要な時に適切な配慮を受けやすくなるのではないかと思います。自分で作ったお気に入りのヘルプマークがあれば、普段から身につけやすくなるかもしれませんね。

## 堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター

〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号 堺市立健康福祉プラザ内 4F

TEL.072-275-5019 FAX.072-243-0202

■開館時間 9:00~17:30 ■休館日 土・日・祝日・年末年始(12/29~1/3)

<http://www.sakai-kfp.info/>



バックナンバーはこちらから⇒ [生活リハだより](#) [検索](#)